



## 病院長からのメッセージ 「再び終末期医療について」

病院長 泉 良平

延命医療中止に端を発した終末期医療に関する議論は、この1年間で大きく進展し、多くの終末期医療に関するガイドラインが示されました。厚生労働省は、本年5月に「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を発表し、終末期医療の医学的妥当性やケアのあり方などに関して詳細に説明をしています。

7月21日には富山市で「終末期医療に関する県民シンポジウム：終末期医療の現状と今後の課題—人生の終末にどのような医療を望みますか?」が行われました。このシンポジウムでは、厚労省のガイドラインを取りまとめた東京大学樋口範雄教授が、3点の取り決めに説明されました。それらは、①終末期であることの判断や延命医療の不開始・中止などについては、医療者は一人では決めず、多職種からなる医療チームで決めること。②終末期医療の中止などを決める際には、医療者は患者自身の意思を尊重し、患者・家族の意思に配慮すべきこと。③十分な苦痛の緩和を行うこと、です。そして、このガイドラインは終末期医療を決定する際のプロセスであり、刑法上の免責を規定するものではないと強調されました。

8月には、日本医師会第X次生命倫理懇談会は、「終末期医療に関するガイドラインについて」の中間答申を日本医師会会長に提出しました。このガイドラインは、厚労省のガイドラインとほぼ同様であり、終末期の決定は医療チームにて行うこと、終末期医療の開始・不開始・変更・中止等は、患者の意思決定を基本とすとなっています。更に、緩和ケアの重要性をあげ、積極的安楽死は行わないとしています。

両者に共通していることは、終末期医療では医療チーム全体での判断が重要で

あり、強い立場にある医師の意見がまかり通ることが無いよう求めていることです。延命医療の中止などを決める際には、患者・家族の意思に配慮し、十分な情報を患者側に提供し、医療者側の論理の押し付けにならないことが盛り込まれています。これまでの古い医療で行われた医師の独善的なパターンリズム（お任せ医療につながります）の排除を意識した内容です。

日本救急医学会は、9月に、「救急医療における終末期医療に関する提言（ガイドライン）」を発表しました。救急医療の専門医が、救急現場での終末期の定義を行い、救急医療にありがちな医療者と患者・家族との診療に関する対立にも言及しています。十分な説明の上で終末期医療を中止することは当然ですが、具体的な延命措置の中止についての選択肢をあげているのが特徴です。救急医療を熟知する医師たちからの具体的な提言です。

その他、脳血管疾患や神経難病、悪性疾患など多くの疾患において、終末期は訪れます。これらの病態を研究し熟知している専門家集団である学会から、終末期医療についての提言があつてしかるべきだと思います。そして、医師のパターンリズムを排除した、説明と同意（インフォームドコンセント）の中で、チーム医療としての終末期医療が正しく行われるなら、医療者は社会から理解をうることができるようになると思います。法律上の問題に踏み込まなくても、医療者が医療を受ける方の目線にたった終末期医療を提供することによって信頼を勝ち得ることが出来れば、医療現場に、そして終末期の人間性・尊厳に大きなメリットが与えられると期待されます。

## 目次

■病院長からのメッセージ 「再び終末期医療について」 病院長 泉 良平	1
■寄稿 「中国秦皇島市第一医院へ医療 技術交流訪問」 看護部長 池上澄子	2
■連載 新病院川柳 「17文字メッセージ」	2
■連載 健康レシピ® 栄養科 「かぶと鮭のクリームシチュー」	3
■部門紹介 リハビリテーション科②	4
■部門紹介 防災センター	5
■インフルエンザの予防	5
■連載 医事課 「労働災害と医療費」	6
■イベント 「ボランティア交流会」	6
■連載 ボランティア・エッセイ40 「富山市民病院ボランティアの現 状」 病院ボランティア 石森貞夫	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8



寄稿

## 中国秦皇島市第一医院へ医療技術交流訪問

看護部長 池上澄子



昭和56年に中国河北省にある秦皇島市と富山市は友好都市になり、昭和61年に秦皇島市第一医院と富山市民病院は友好病院になりました。それから現在まで、秦皇島市第一医院から11回の医学研修生を受け入れ、富山市民病院から6回の医療技術友好訪問を行いました。今回は第7回目として、看護の交流を目的に看護師2名が友好訪問に行って来ました。

北京空港は霧が深く、約6時間遅れの到着でした。北京市は来年のオリンピックの準備のため、多くの高層ビルの工事をしていました。北京から車を走らせること4時間位で秦皇島市に着きました。秦皇島市は万里の長城が始まる海

岸を有するリゾートの街で、皇帝が避暑に来ていたことからついた地名とのことです。

秦皇島市第一医院はベッド数1200床、1日外来受診される方は2000人と市で一番大きい病院で、現在外科病棟ビルを建設中(建設後は1500床)でした。病院の中を案内して頂いている時、廊下のベッドで休んでいる方が居られるためお聞きしたところ、病床がオーバーして病室に入れず、病室に入るのに長い人で2週間位待つ場合があるとのことでした。他院からの紹介も多くあり、断れない立場であることなど、第一医院が地域で担っている医療の大きさを実感しました。

外来での点滴は点滴室に集まり受けていました。点滴室は6つのパーティションで区切られた素敵なお部屋で、80人位座れるリクライニングの椅子が並べられており、それぞれにナースコールがついていました。テレビも置かれ



滴している時間を過ごすのに良い環境と思いました。

交流会では、100人位の看護師の方に、「日本の看護継続教育の現状と課題」と「クリニカルパスとICUの紹介」についてプレゼンテーションを行いました。意見交換会では看護師の師はなぜその漢字を使用するのか、クリニカルパスとは何か、そのまま患者さんにお渡しするのか、ICUに看護師は何人いるのか等々沢山の質問をもらいました。

お互いにもっともっと情報交換し、外からの発想で医療・看護を見つめなおし、お互いに発展していく機会にしていきたいと強く感じる訪問でした。



連載 新病院川柳

「十七文字メッセージ」

支え合う

今日も笑顔の  
看護職

(石森貞夫)

入院し

素直に言える  
ありがとう

(木下嘉子)

朝不安

診査終わり  
帰路笑顔

(本多久尚)

苦しみを

語れる家族や  
月満る

(藤原照子)

遠き孫らに

メールで励み貰い  
杖歩きでき

(ヘルニア男)

スタッフの

笑顔が一番  
たのもし

深呼吸

今日も笑顔で  
がんばるぞ!

## 連載 健康レシピ⑧

### 「かぶと鮭のクリームシチュー」 (栄養科)



かぶはおなじみの冬野菜であり、日本には古くからあります。全国各地でその土地にあった品種が改良され、現在では80種類以上が栽培されているといえます。葉の緑がみずみずしく皮全体に光沢があり、固くしまったものが良品です。

#### 作り方

- ①. かぶ、にんじんは皮を剥いて1口大に切り分け、面取りをする。かぶとにんじんは下茹でしておく。かぶの葉は、3cmくらいの長さに切る。
- ②. 玉ねぎは、くし型に切り分ける。
- ③. 鮭は一口大に切っておく。
- ④. 鍋にバターを溶かし、玉ねぎを炒め、さらに鮭を入れ、しっかりと色がつくまで炒める。
- ⑤. ④に、かぶとにんじん、かぶの葉を加え、材料がかぶるくらいの水を入れて煮込む。
- ⑥. 最後に市販のシチューの素を加えて、塩、こしょうで味を調える。



#### 材料(4人分)

鮭	280g
かぶ	2個
にんじん	1本
玉ねぎ	1/2個
バター	適宜
市販のシチューの素	適宜
塩・こしょう	適宜

## ★栄養Q&A

日頃よく耳にしたり目にしたりする栄養や食品に関する疑問にわかりやすくお答えします。

**Q** : 『かぶの効用』について

**A** : かぶは、根と葉の部分にそれぞれ豊富な栄養素が含まれています。根は淡色野菜でビタミンCを多く含むと共にアミラーゼ(でんぷんの消化酵素)を含んでいて、ご飯などの消化を良くしてくれます。葉は緑黄色野菜で、カロチン、ビタミンC、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維などを含んでいます。皮ごと調理して食べると良いでしょう。

## かぶを使って風邪予防!

### 1. 皮膚や粘膜を保護

カロチンは鼻や喉の粘膜を丈夫にします。ビタミンCは血管や皮膚を強化し、風邪などのウイルスの侵入を防いでくれます。

### 2. 身体を温める

かぶを使ってスープや煮物などの温かい料理を作ってみましょう。湯気は鼻や喉を潤し、身体を温めてくれます。加熱によってカリウム、ビタミンCなどが汁に溶け出しますが、汁まで飲めば、栄養を逃がさず摂ることができます。

また、一緒にねぎ、にんにく、生姜などの香味野菜を入れると、内臓の働きを良くし、免疫力を高めてくれます。

## ◇ワン・ポイント・アドバイス / ノロウイルス食中毒の予防 ◇

### 1. ノロウイルスとは

従来ノーウォーク様ウイルスとよばれていた小型球形ウイルス(SRSV)の一種で、2002年に国際ウイルス学会で正式に命名されました。

特に冬季に感染性下痢嘔吐症を起こすウイルスで、ヒトの小腸上部に感染し、そこで増殖しますが、食品中では増殖しません。

### 2. 症状

一年を通して発生しますが、冬場とくに1~2月が発生のピークになる傾向があります。潜伏期間は24~48時間。発症当日は激しい症状を呈し、嘔吐

(噴出性)、下痢、発熱など突然始まることが多い。多くは1~3日で回復しますが、回復後も2週間程度は便にウイルスが排出され、感染源になります。

### 3. 感染経路は経口感染

生かきなど汚染された食物や水を加熱しないで飲食することにより感染します。また、調理者の手指を介した食品、食器などの汚染も原因です。

感染者の便や吐物の処理時に飛沫が口に入ったり、汚染された手を介して二次感染します。また、病院などの施設や家庭では、お互いの接触により直接感染(飛沫感染)することもありま

す。感染力が強く、100個程度のウイルス量でも発症するとされています。

### 4. 食中毒予防策

日常生活で手指からの感染を防ぐには手洗いが非常に大切で、調理前には手洗いを徹底しましょう。

また、カキ等の二枚貝の生食は控え、十分に加熱してから摂取しましょう。加熱加工用と表示されたカキなどの生食は絶対しないでください。必ず加熱するようにしましょう。二枚貝調理後まな板、包丁、食器、ふきん、タオルなどはよく洗浄し、キッチンハイターを100倍~200倍に薄めた液に漬けて消毒します。

## 部門紹介

## リハビリテーション科(2)



リハビリテーション科では、様々な病気やケガに伴う障害を持った方に対して、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の専門的治療を行っています。

理学療法では、障害により困難となった基本的動作（寝返り、起き上がり、坐る、立つ、歩く）の獲得を図ります。また、病気や手術後の安静により寝たきりにならないように、全身状態を管理しながら早期から運動や動作練習を行って、離床を促していきます。具体的には、関節を動かしたり筋力をつけたりする運動、基本動作

練習、バランス訓練や呼吸訓練などがあります。また、痛みや麻痺に対して、物理的エネルギーを用いて身体生理的機能の改善を図る電気・温熱・水治療法などがあります。

作業療法は、理学療法で獲得された基本的動作をさらに応用的動作へと広げるために、作業活動を主な治療手段として身体や精神機能の回復を図ります。作業活動としては、食事・排泄・整容・更衣等の日常生活動作を中心に行い、また手芸や知能・記憶・認知活動等の机上訓練も行っています。また必要に応じ、自助具や補装具の作製、退院される方には福祉機器・住宅改造・介護方法の指導や介護保険をはじめ利用できる制度の紹

介なども行っています。

言語聴覚法は、脳卒中後の失語症・聴覚障害・ことばの発達の遅れ・声や発音の障害など、ことばによるコミュニケーションに問題がある方に対し、訓練・指導を行い、コミュニケーション面において、自分らしい豊かな生活が送れるように支援しています。また、摂食・嚥下（たべることや飲み込むこと）に問題がある方に対しても、安全に食事ができるように援助を行います。具体的には、ことばによるコミュニケーションの問題に対しては、「聞く」「話す」「読む」「書く」それぞれの側面から評価・訓練を行います。摂食・嚥下の問題に対しては、それぞれの方の状態に応じた食事形態にすることで、むせ・誤嚥性肺炎を防ぎ、経管栄養の方には、口から食べられるよう、評価・訓練を行っています。



## 部門紹介

## 防災センター

私達、防災センターの仕事は、一言で言えば、病院に出入りされるすべての人達の安全と安心を提供することではないかと思えます。防災監視盤により万一の場合、火災の発生場所の特定、火災の状況、防災設備の作動状態等々、災害に係る情報の提供を行い、初期消火活動、避難誘導の指示命令を出す等々のことが一番大切だと考え、常に緊張感を持って業務に努めております。

その他に入院案内や院内外の巡回警備、病院に出入りする業者等の受付、先生方の使用される院内専用PHSの授受管理、鍵の貸出と管理、夜間及び休診日の電話交換業務、駐車場設備の管理等々行っております。12名のスタッ

フで常時24時間体制で仕事をしております。窓口といえば、病院の顔という一面もありますので、電話交換や窓口対応には十分に気を配り親しみやすく分かりやすい案内に心がけております。

又、巡回警備も大事な仕事であり、巡回中に不審な人を見かけた時は速やかに退去してもらっておりますが、大変残念なことで、置き引きや盗難被害が時々発生しています。私共も隅々まで目が届かない場合もありますので、貴重品類は必ず身に付けていただき、被害に遭わないよう充分気をつけて下さいますようお願い致します。今後も、皆様方の安全、安心を提供できる防災センターでありたいと思います。



## 「インフルエンザの予防」

## 感染対策看護エキスパートナース

## ひろげるな インフルエンザ! ひろげよう 咳エチケット!

インフルエンザの季節がやってきました。インフルエンザは、突然38～39度の発熱に加え、頭や筋肉、関節、腰の痛みなど全身に症状がみられるのが特徴です。感染から1～3日の潜伏期間で症状が現れ、大人では5日間、子供で7日間ほど続きます。感染力は強く、高齢者では命を落とすこともあります。乳幼児では脳症や肺炎などの重症になる恐れがあります。

インフルエンザ対策は予防が第一です。最近では、「富山県からのお知らせ」として、ラジオからインフルエンザの予防を呼びかけています。インフルエンザを予防するに

は、まず予防接種を12月上旬までに受けておくことです。予防接種を受けておけば、仮にインフルエンザに罹っても症状が軽く治りも早くすみます。また、インフルエンザのウイルスは咳やくしゃみと一緒に飛んで鼻やのどに入り、粘膜上で増殖します。流行が始まったらマスクで鼻と口を覆い、できるだけ人ごみを避け、帰宅後の手洗いとうがいを行いましょう。

「ひろげるな インフルエンザ ひろげよう 咳エチケット」

これは今年度の厚生労働省の目標です。「咳エチケット」とは、咳やくしゃみが出る時にティッシュ

ペーパーなどで鼻と口を覆い、使い終わったらそのままゴミ箱に捨てる方法です。他の人にうつさないためにも職場だけでなく家庭でも1年を通して実践してほしい予防策です。

インフルエンザは1月下旬から2月上旬に流行期を迎えますが、今年例年より早く流行しています。予防接種と手洗い、うがい、マスクに加え、他の人にうつさないための「咳エチケット」を心がけましょう。そして十分な睡眠とバランスの良い食事を取り、抵抗力を付け流行期を乗り切りましょう。

## 1. 労働災害って何？

労働災害（以下、労災）とは、業務上の事由、または通勤途中で負傷・疾病・障害・死亡する災害のことを言います。このような労災に対しては通常の健康保険ではなく、労災保険から治療費がでます。労災に対しては健康保険が使用できませんのでご注意ください。

## 2. 誰に適用されるの？

労災保険は正社員だけではなく、アルバイト・パート・契約社員も対象となります。なお、公務員の方は別の保険になりますので、勤務先の労災担当者へご相談ください。

## 3. 労災で富山市民病院を受診するときはどうすればいいの？

労災で当院を受診される場合は、受付で必ずその旨をお伝えください。治療終了後、医事課で詳しい内容についてお話を聞かせていただきます。その後、労災の手続きに入ります。当院は労災保険指定医療機関ですので、労災の給付請求の書類

を提出していただくことになります。必要な書類は傷病の種類や状況に応じてそれぞれ表のようになります。

これらの書類については、勤務先の労災担当者にご相談ください。書類を記入し、速やかに当院へ提出してください。また、労災保険には治療費の給付だけでなく、休業補償や障害補償給付もあります。これらの手続き等については、お近くの労働基準監督署にお問い合わせください。

## 4. 労災のとき、健康保険で治療を受けてもいいの？

労災の疾病・傷病なのにそれを隠して、健康保険で治療を受けようとする「労災かくし」は犯罪です。「労災かくし」をすると、患者さまが休業補償や障害補償給付といった本来受けられるはずの補償が受けられない、といった不利益が生じます。労災の場合は必ず届け出てください。

## 1. 初診が当院の場合

- ① 業務災害時…療養補償給付たる療養の給付請求書(様式第5号)
- ② 通勤災害時…療養給付たる療養の給付請求書(様式第16号の3)

## 2. 初診が当院でない場合

- ① 業務災害時…療養補償給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届(様式第6号)
- ② 通勤災害時…療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届(様式第16号の4)

## 5. 労災のとき同意書はなぜ必要なの？

労災の場合、労働基準監督署等から患者さまの治療について照会（容態や治療内容、入通院に要した日数及び治療費等）があります。診療情報は個人情報ですので、これらの情報を労働基準監督署に提供することへの同意書を記入していただくことになります。ご協力をよろしくお願いいたします。

## イベント

## ボランティア交流会（ボランティア活動運営委員会）

平成19年11月15日（木）に市民病院3階講堂において、ボランティア交流会が開催されました。院内ボランティアの方々やふれあいギャラリーの出展者の方々など28名が出席され、院内関係職員を合わせると56名の集まりになりました。テーブルの上は華やかなフラワーアレンジメントで彩られ、和やかな雰囲気になりました。

初めに泉院長から「日頃から院内で活動していただいているボランティアの方々、ふれあいギャラリーに出展いただいている方々には大変感謝しています」との感謝の言葉が述べられ、続いて平成18年9

月末から平成19年10月末までのふれあいギャラリーの出展者14名の方々、ボランティアとして2年継続して活動いただいている5名の方々に感謝状の贈呈をしました。

ボランティア活動運営委員会のメンバーの代表者からは、日常活動やさんぽ図書、ふれあいギャラリーで活動されているボランティアの方々への日頃の感謝の気持ちを伝え、ボランティアの代表の方々からも言葉をいただきました。

また、今年9月にエントランスホールにリニューアルした「ふれあい地域医療センター」について、地

域医療連携室の高畑主幹より当院が行っている地域とのかかわりをわかりやすく説明され、研修の場としました。その後、出席者全員で記念撮影を行い、短い時間でしたが互いに気持ちを交流させ楽しい一時を過ごしました。

最後に今市委員長から「ボランティア活動が、患者さまだけでなく職員をも助けていただいていることに大変感謝しています。今後ますます健康に留意され、院内ボランティア活動にご協力いただきますようお願いいたします。」と述べ、ボランティア交流会が終了しました。

連載

## ボランティア・エッセイ40 病院ボランティア 石森貞夫 『富山市民病院ボランティアの現状』

◆富山市民病院のボランティアは、平成11年3月に4名でスタートし、15年に7名、16年には24名に、現在は25名が登録されて「ボランティア運営要項」に基づき各々活動しています。院内では「病院ボランティア活動運営委員会」を15名で構成して、年間活動計画により運営されており、私達は「病院ボランティア養成講座」を受講し、自己研鑽に努め『地域とともに、気持ちよく利用できる、よりよい治療やサービス』できる病院を目指して、研修会・交流会を通じて職員の指導で受け付け・車椅子介助・リハビリ送迎・小児病棟の本読み・さんぽ図書・用具修理・美化など活動をしています。

◇特に高齢者・身障者などに対するサービスには配慮し、外来者車両・介護用車両・タクシーの乗降時の安全確保と車椅子利用者には、手助けなどの便宜に注意して、安心して通院できるよう、正面玄関には福祉関係者などの要望で“黄色の安全地帯”を設けて、患者乗降用優先としました。

◆構内に入る車両は、地鉄バスは南富山・辰尾団地・高専・国際大学・富山駅方面など診療時間中は約48回の時間帯で転回し、最近福祉車両（第5条患者等輸送）として介護保険医療通院制度で、ライフサービス・ソーロング・コクエイ・NPO青い鳥等のワゴン車・専用車や、老人ホーム・ケアセンターの敬寿苑・くれは苑・みわ苑・光風苑・三寿苑・えがお

あざみ・ケアおおさわの・シルバーケア栗山・今泉・アイリスケアセンター・かがやき・日産科学・晴風荘等の大型車両や市町村関係の小型福祉送迎車両も予約に基づき早朝より、有償にて送迎されています。

◇さらに構内で駐車利用されるタクシーは、富山交通・新富・地鉄・城南・呉羽・北陸・大和・中越・電タク等、電話予約は愛交通が多く利用があり、婦中・大澤野・八尾等が立ち寄り、特にご婦人は「富タクの小型」の呼び出し要請や「新富の女性運転手」等と指定される帰宅者もあり、個人タクシーは増川・月岡・満津黄さん等夫々顧客があり、タクシー業界は競争が厳しい状況です。合間をぬって救急車・郵便集配車・ホクタテ警備車・宅配貨物車・公用車等構内は寸刻みで混雑しますので、月曜～水曜は来院者が多く、木曜から金曜は少なめなようですね。

◆高齢者は院外処方のために、向かい側の外来薬局への近道を横断するので、バス回転路や駐車場を渡るので、交通整理の方は不法駐車を取り締まるとともに、安全の指導に毎日大変です。第一駐車場は午前9時過ぎには満車になるので、無線機で第二駐車場と連絡を取りながら状況把握に苦労されています。また地鉄バスの発車・到着・方面案内には間違いのないように、乗降の見守りも安全のサービスのひとつです。

◇県下の病院ボランティアの活動実数は、富山市民病院25名、県立中央

病院30名、富山赤十字病院260名、富山医科薬科病院30名、高岡市民病院50名、黒部市民病院94名、砺波市民病院100名、上市厚生病院30名、井波総合病院15名、済生会富山病院10名など（平成16年調）県看護協会主催の病院ボランティア養成講座受講時の、お互いの交流会の情報でしたが、現在は財政の不足から継続されなくなり、地域での活躍中で残念ですが総合的な集計はできません。

◆なぜ病院ボランティア活動をするのか、他人の苦勞を手助けするためばかりではなく、自分自身の自己研鑽や、病院に自分や家族がお世話になったり、今までの人生の経験を生かしながら、社会になんらかの奉仕をとおして、“生老病死”を感じたり、「ありがとう」「ごころうさま」とお互いに声をかけられると、今日の疲れを忘れて、定年後のライフサークルのため、仲間意識で頑張れる、9年目を迎えて継続の大切さを認識しながら、自分には時間的に余裕がある、健康管理のため、広報紙で知って応募する、笑顔が力になる、人に会える事が楽しみだ、ボランティアを通じて癒されるなど、病院を交えて健康に対する医療に理解ができるとともに、人間関係の勉強になり、自分が日々励まされるので、高齢化社会の現在を、エッセイ40号を記念して、ボランティア活動を反省しながら、今後とも職員のみなさんご指導と、ご理解ご協力をお願い致します。（平成19年11月30日）



ボランティア交流会

## ■今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

12月12日から1月4日まで、写真「ポスターのなかの写真たち」(橋本規子さん)を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。11月16日から展示してありましたきり絵「趣味を求めてパート2」(月見町切り絵の会の皆さん)は12月12日で終了しました。有り難うございました。1月4からは木版画(水上悦子さん)を展示する予定です。



ふれあいギャラリーより「切り絵」



ふれあいギャラリーより(橋本規子さん)写真「すすきの穂 膨らむ静謐な刻」

## ■今月のイベントと院内の動き

- 10月26日～11月2日：医学学術交流を図るため、看護部長と看護師1名が秦皇島市第一医院を訪問しました。(2ページ参照)
- 11月15日(木)：ボランティア交流会が行われました。(6ページ参照)
- 11月20日(火)：接遇力向上講演会が行われました。(株)プラチナコンシェルジュ代表の森 幸恵さんを講師にお迎えし、「高度1万メートルのおもてなし」と題した講演を拝聴しました。
- 11月29日(木)：全員協議会で医療倫理の講演会を行いました。
- 12月7日(金)：脳死下からの臓器・組織提供シミュレーションが行われました。警察・消防・空港や行政の方々、院内外含め約100名の関係者が参加して行われました。
- 12月7日(金)：小児病棟のクリスマス会が盛大に行われました。10名程の患児がサンタクロースからプレゼントをもらい、少し早いクリスマスとなりました。皆で楽しい時間を過ごすことができました。ボランティアの皆さん方もご協力有り難うございました。
- 12月14日(金)：看護師の「卒2ケーススタディ発表会」があり、多くの研修成果が発表されました。
- 12月15日(土)：国立保険医療科学院経営科学部長、熊川寿郎先生をお招きして、BSC(バランスト・スコアカード)発表会を休日返上で行いました。病院全体で医療の質の向上と計画的な改善活動を実施しています。
- 12月21日(金)：午後5時から「クリスマス会」があります。サンタクロースと聖歌隊が各病棟を訪問し、入院患者さまの健康回復を願い、担当看護師の手作りのクリスマスカードをプレゼントします。
- 年末年始(12月29日～1月3日)は外来の休診日です。尚、12月30日(日)は当院が輪番病院です。



総編集長: 病院長 泉 良平  
 編集部: 齋藤勝彦・島竹恵美子・石森貞夫  
 村崎 進・松下桂子・笠原裕子・川口 宏  
 発行: 富山市立富山市民病院広報委員会  
 〒939-8511  
 富山市今泉北部町2-1

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>

電話 076 (422) 1112  
 FAX 076 (422) 1371



富山市立 富山市民病院



富山市民病院の理念

富山市民病院の存在意義.....MISSION 使命

私たちは医療を通して皆様の健康を守り、  
 豊かな地域づくりに貢献します。

我々が何を大切にして行くかのキーワード.....VALUE 価値観

- 信頼 安全・安心・満足・透明性
- 良質 技術・知識・向上心・科学的
- 思いやり やさしさ・やすらぎ・おもてなし・親切
- つながり 連携・チームワーク・わかりやすさ
- 俊敏 迅速・効率的・的確

将来どのような姿を目指すのか.....VISION 展望

地域医療のリーダー病院となる  
 地域から最も信頼される病院になる  
 地域医療の質向上を牽引する病院になる  
 地域医療情報ネットワーク構築の中心的役割を担う病院になる